

都中P通信

No.37

発行 平成26年12月 東京都公立中学校PTA協議会 会長 田谷 克裕

★平成26年度 東京都教育委員会委託事業 東京都中学校PTAリーダー研修会★

「より良い社会人を育成する家庭教育」

報告者：派遣理事 加納京子

～PTAを活性化させ、家庭の教育力を高めることで公立学校の学力をレベルアップさせよう～



日時：平成26年11月16日(日) 14:00～16:30

場所：港区立青山中学校1階ホール

講師：遠藤 勝裕 氏

独立行政法人日本学生支援機構理事長。公益社団法人経済同友会「学校と企業・経営者の交流活動推進委員会」及び「教育問題委員会」副委員長。東京都教育委員会委員

都中Pは今年度の重点活動目標として「子供の教育の原点は家庭にあるということを再確認し、家庭の教育力を高めることで、学校・地域・行政と手を携えて、より良い社会人を育成することを目標とする。」を掲げています。昔のような家庭の教育力がなくなったと言われる現代。この現実をどのように直していったら良いのでしょうか。

●経済界のものがなぜ教育について議論するか

受け入れる企業として、若者の変化(就職しても3年もたない等)に危機感を持ち、「**教育現場は何をしているのだろうか**」。逆に教育の現場から見ると、「**送り出した若者を企業は大事にしない**」とお互いに意思疎通がないまま批判し合っている現実があり、嫌がられても押しかけていこうというコンセプトで交流を始めた。

●国際社会で日本の競争力を維持していこう

【教育現場や家庭に言いたいこと】

社会が求める人材像は変化し、機械化により、社会は**人手ではなく人材**を求めている。BRICs(ブラジル、ロシア、インド、中国の資源産出国)の若者は目の輝きが違う。日本の若者が豊かなストックの上にあぐらをかいていると、日本の社会そのものがだんだん外国の若者のものになってしまう危機感があり、国家的見地からは国内人的資源強化の必要性がある。一企業の企業防衛の観点からは、よりグローバルな展開の必要性があるだろうが、これは企業のエゴであり、避なければいけない。

【子どもたちに伝えたいこと】

「**世界中が君たちの競争相手**」と同時に「**君たちの可能性は世界中にあるんだよ**」ということ。

●そして家庭がすべきこと

- ①家庭内で教育とは何かをしっかりと議論し、「**会社が求める人材ではなく社会が求める人材**」を育成する。
- ②18歳までに「**社会人として身につけるべき基礎力**」をきちんとつけていく。

●18歳までに社会人として身につけるべき基礎力

- ① 基礎的知識の習得
- ② 多様性・異文化の理解
- ③ 日本を良く知る
- ④ 疑問を持ち、学び前進する意欲
- ⑤ 思考・表現力・決断力
- ⑥ 善悪の判断、礼儀、忍耐など社会性



研修会の様子

最後に遠藤先生から「東京都の教育委員としても、東京の公立の学校、特に公立中学校のPTAの方とは連携をとっていきたい」と力強いお言葉をいただきました。

第22回 東京都島しょPTA連絡協議会合同研修会 八丈島・青ヶ島大会に参加して テーマ「育てよう！たくましさ豊かな心。夢と希望をもとう 島の子どもたち！」

東京都立中学校 PTA 協議会会長 田谷克裕



11月でも咲いているハイビスカスと会場となった八丈町庁舎多目的ホール



中学生によるアトラクション（ダンス）



開会のあいさつをする奥山茂巳氏（東京都島しょPTA連絡協議会会長）

昼食をはさみ、分科会になりました。分科会は四つあり、私は第1分科会を選択しました。内容は、都立八丈高等学校の先生による授業形式で数名ずつ班分けし、八丈高校のキャリア教育について伺った後、クリティカルシンキング（論理的に考える力）について勉強しました。班ごとに与えられた課題について検討し、結論を出す。久しぶりに高校生に戻った気分になりました。

その後は宿泊先でチェックインを済ませ、「おじゃれ」に戻り、山下町長・町議会議員・佐藤教育長・行政・教育委員の方々、八丈島・青ヶ島・大島・利島・新島・神津島・三宅島・御蔵島のPTAが参加しての懇親会となりました。懇親会の初めに都中Pの活動について話す時間をいただきました。ありがとうございました。会が盛り上がったところで、各島の紹介や歌の披露等がありました。中でも八丈島の方々の八丈太鼓は圧巻でした。そして懇親の時間も楽しく終わりました。

翌日の島を離れる際も、島の方々による温かいお見送りがあり感激いたしました。

今回は、貴重な講演を伺い、勉強をして、懇親を深めました。しかし、一番印象に残っているのは、島の皆さんの心温まるおもてなし、優しい笑顔でした。皆さんどうもありがとうございました。

11月15日ー16日に東京都島しょPTA連絡協議会合同研修会に参加しました。会場となる八丈町庁舎多目的ホール「おじゃれ」は、最近できたばかりの真っ白な庁舎。青い空にすく映えます。11月だと言うのに、島のあちらこちらで真っ赤なハイビスカスが咲いています。初めて伺った八丈島は、まさに南国の島でした。八丈島空港で熱烈な歓迎を受け、ちょっと照れましたが、皆さんのフレンドリーな笑顔が嬉しかったです。

大会が始まりました。まずはアトラクションとして中学生によるダンス、軽快なリズムに乗って息の合った楽しい踊りを披露いただきました。

そして、開会式。東京都島しょPTA連絡協議会会長

奥山茂巳氏、八丈町長 山下奉也氏の挨拶に始まり、関係者・来賓の挨拶と続きました。

引き続き講演会に入りました。講師の宮下純一氏は、2008年北京オリンピックの競泳男子100m背泳ぎでアジア・日本新記録を樹立、決勝で8位入賞、同400mリレーでは見事に銅メダルを獲得されました。お話の内容は、幼少期からオリンピック選手になるまでのエピソードでした。まず、幼少期の話として、ご自身は水が苦手で頭を洗うにもシャンプーハットをしていました。その苦手を解消するため親がスイミングスクールに通わせたところ、水泳は楽しくなかったけれど記録は伸びていきました。ここで、自分の能力を発揮できるのは、好きなものだけではなく、嫌いなものにもあるのだと言うことを話されました。好きなことにこそ自分の能力を発揮できると思っていた私としては驚きでした。また、高校時代は目立とうとして体育祭で仮装をして、クラブ対抗リレーに出場しました。この自分の思いを表現しアピールしたいという気持ちが続いて、オリンピック出場に繋がったそうです。そして、順調に記録も伸びたところで進学の話がありました。父親に相談したところ、「迷ったら自分で決める、自分で決めた道ならば、挫折しても納得できる」と言われました。素晴らしい父親の助言です。こうして、オリンピックメダリストが誕生したわけです。

宮下氏の、はきはきとして爽やかな語りかけに、あっという間の講演会でした。



空港での温かなお出迎え

★☆☆今月の一言「妥協しないもの…」★
妥協は沢山してきた。自分に負けたこともいっぱいあります。ただ、野球に関してはそれがいい。

イチロー（メジャーリーガー）の言葉



★保険制度のご案内★ セイフティプラン24【中途加入が出来ます!!】

都中Pが厚生事業として運用している会員向け団体保険。個人会員ごとに加入となります。犯罪被害にも対応しており、東京都の「犯罪被害者等支援を進める会議」においても、他保険ではあまりない被害事故補償（交通事故含む）を打ち出した保険として高い評価を得ています。加入・お問い合わせは都中Pまで。E-mail: jpta@tokyo-jpta.org

